

1 講座概要

日 時	令和2年2月5日(水) 18:30~20:30
会 場	真狩村役場
運 営	真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂 道立生涯学習推進センター 主査 久末 考勇
参加人数	9名



【説明の様子】

2 プログラム概要

- 開 会
- 説 明「今回のテーマの説明」  
 説明者 真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範
- 協 議「テーマごとに地域活性化のプロジェクトを考えよう」  
 進 行 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂



3 講座内容と参加者の様子

今回は、前回議論された村の魅力の活用や日頃からやってみたいと思っていた地域活性化のプロジェクトを「食」「自然」「フリー」のテーマに基づいて、チームごとに話し合いをしていただきました。

参加者は1回目から参加した方々で、自己紹介することなく自然と話し合いが進み、目的やねらい、対象者やプレイヤーなど具体的な発案につながっていました。「食」チームは、村の美味しいものの知名度を上げるためのプロジェクトを、「自然」チームは、真狩フラワーセンターの遊休施設を活用した企画提案型利用で誰もがお金儲けを出来る仕組みを、「フリー」チームは、村特産のゆり根を7年かけ栽培し、おせちをつくる特番をつくるなど発想豊かな内容となりました。

今回の参加者が少なかったのは、自らプロジェクトをやらなければという考え方になり、尻込みしたのかなと思われました。

自由な発想を具体化するには、話し合いが必要で、様々な職種や多くの人を巻き込まなければ成り立たず、今後も「みらい会議」を継続実施していかなければと、強く感じられました。



【グループ協議の様子】



【グループ発表の様子】

4 アンケートの結果

前回同様の項目を設定し、アンケートを実施しました。今回のテーマ「プロジェクトを動かそう」では、地域活性化のプロジェクトをチームごとに発案していただきましたが、具体的に誰に何をどのようにアプローチするかなど、自らがまちづくりに参加するイメージを持つことができたと考えられ、事後のアンケート結果では、満足度の高いものとなった。

今後は、地域活性化の案として出されたプロジェクトを発案者とともに具体化することも必要であり、この輪を広げていくことが課題だと感じました。

項目		事前	事後
1	真狩の未来に対する関心	3.6	3.9
2	まちづくりに参加したい気持ち	3.2	3.8
3	地域住民が主体的に活動することの必要性	3.4	3.9
4	役場と住民が協働することの必要性	3.6	3.8
5	地域住民が地域の未来を話し合うこと の必要性	3.7	3.9

数値は参加者9名の平均値(小数第2位を四捨五入)